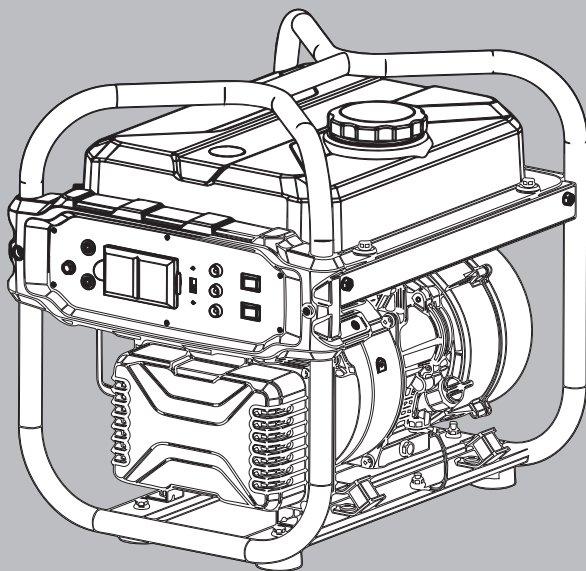


ACCESS®

インバーター発電機  
AQ2000iX

取扱説明書



ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

保証書付き

AQCESSの発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ございます。

お買い上げいただきました商品や、サービスに関してお気づきの点、  
ご意見などがございましたら、お買い上げ販売店にお気軽にお申し付けください。

### 取扱説明書について

この取扱説明書は

- 運転をするときには、必ず携帯してください。
- 発電機を貸与または譲渡される場合は、本機と一緒にお渡しください。
- 紛失や損傷したときは、お買い上げ販売店にご注文下さい。

## ■はじめに

AQCESS発電機をお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、安全にお使いいただきますようお願い致します。

- ・当社の許可なく、取扱説明書の内容の全部または一部を複製、改修および無断での転載等は禁止されています。
- ・安全上の注意や製品仕様等は、予告なく変更される場合があります。その為、お客様が購入された製品と、取扱説明書に記載された内容が異なる場合がありますので、ご了承ください。

## 安全上のご注意

必ずお守りください

この取扱説明書及び本製品に貼ってあるラベルは、安全に関わる重要な注意事項を警告・注意のマークを使用し表現しています。

本製品を安全にお使いいただき、使用者及び周囲への危害や財産への損害を、未然に防ぐ為のもので、必ずお守りください。

本製品を使用する前に、この取扱説明書に記載されている各項目を良く読み、理解し、厳守してください。取扱説明書を無くしたり、汚したりせず、使用者が必要に応じて読むことが出来るよう大切に保管してください。

警告・警告事項の意に反して安全義務を怠ったり、規定外の使用による機器の破損や怪我等に関しては、当社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。



**警告**

この表示内容を見逃し、誤った使い方をしますと、死亡事故や怪我等の重大な傷害に結びつく可能性があります。

- ・必ず取扱説明書を読み、本製品の使用方法をよく理解してからご使用してください。
- ・本製品の分解・改造はしないでください。
- ・排気ガスには、有害な成分が含まれていますので、使用中は必ず換気をし、使用場所の通気を良くしてください。
- ・使用中、使用後はマフラー部及び周辺部が非常に熱くなりますので、絶対に触れないでください。ヤケドやケガの原因になります。
- ・燃料は引火しやすく、気化した燃料は爆発する恐れがあるため、燃料給油の際は、必ずエンジンを停止し通気の良い場所で行ってください。
- ・給油中は喫煙・火気厳禁です。火災や爆発の原因になります。また、静電気が発生しないよう十分注意してください。
- ・給油中に燃料がこぼれた場合は、きれいに燃料を拭きとり、完全に乾かしてからエンジンを始動させてください。
- ・万が一、燃料が目に入ったり、皮膚に付着したりした場合は、速やかに清潔な水で洗い流してください。

- 濡れた手で触らないでください。感電の原因になります。
- 電力会社からの電気配線には、絶対に接続しないでください。故障、火災、感電事故の原因になります。
- 誤った使用方法により、商品が破損・人体への損傷・物品等への損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。
- 医療機器への仕様に関しましては必ず事前に医療機器メーカー、医師、病院などに確認をしてから使用してください。
- 本製品はAC出力電源50/60Hzの切り替えが可能となっていますので使用機器、もしくは使用する地域の周波数（東日本50Hz、西日本60Hz）に合わせて切り替えてください。間違った周波数で使用しますと、機器の動作不良、故障などにつながる恐れがありますので、使用機器の説明書などで仕様をよく確認してから周波数を設定してください。
- 初めての始動時、もしくは一度燃料を抜いた状態からの始動時はエンジンのキャブレター内に十分な燃料が供給されていないため、スターターを数回引かないと始動しません。燃料タンク内に十分に燃料が入っていることを確認の上、始動するまでスターターを繰り返し引くようにしてください。（始動しない場合は本書の「エンジン始動」の部分をよく読み、各種スイッチ類の位置及びオイルや燃料の量などを確認してください。）
- 本製品を鉄板、コンクリートフロアなどの平滑な場所に置いて使用する場合、発電機自身の振動により本製品が移動することがあります。その場合、転倒や滑落の危険性があるのでストッパーなどを使って発電機の移動防止策を行ってください。

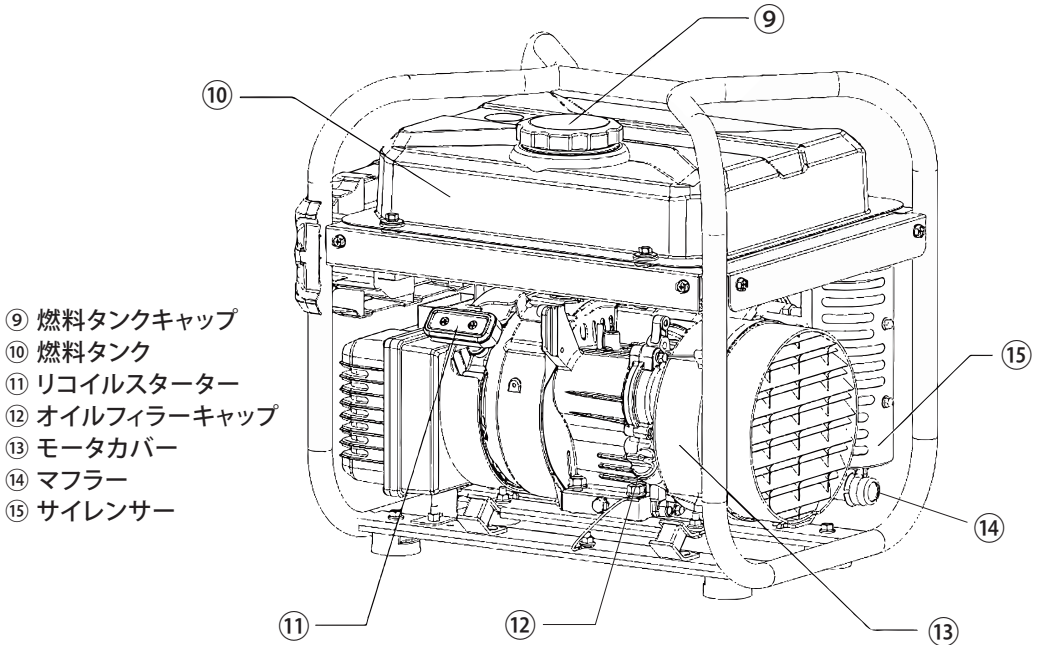
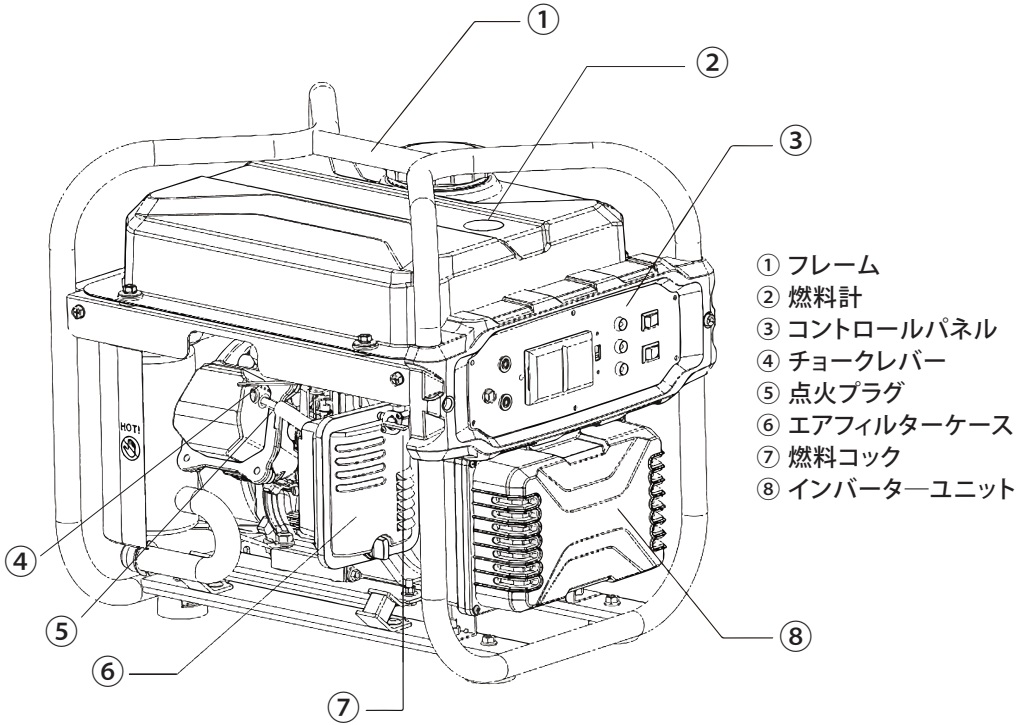


## 注意

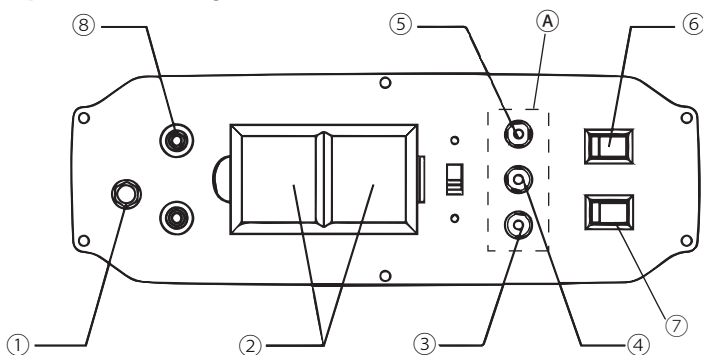
この表示内容を無視し、誤った使い方をしますと、人的障害及び製品の故障やその他物的損害に結びつく可能性があります。

- 使用前に、毎回必ず各部の点検を行ってください。（始動前点検参照。）
- 本製品を平坦で固い床面に設置し、建物や壁から1 m以上離してください。
- 本製品を傾けますと、キャブレター、燃料タンクより燃料が漏れる恐れがありますので、必ず本製品を垂直に保つように設置してください。
- エンジン始動中は、本製品を移動させないでください。
- エンジン始動中は、子供や幼児の手の届くところでは使用しないでください。
- 使用中に異音、異臭、振動等の異常が感じられた場合は、直ちにエンジンを停止させ、販売店までご連絡ください。
- 定格出力を超えた過負荷状態では、絶対に使用しないでください。故障や火災等の原因になります。
- エンジン始動前に、電気機器を接続しないでください。感電やケガの恐れがあります。
- 必ず、4サイクルエンジンオイル及び、自動車用レギュラーガソリンを使用してください。
- 運搬の際は、必ず2人以上で運んでください。

# 各部名称 ■外観



## ■コントロールパネル



- ① アース端子
- ② AC電源コンセント
- ③ 過負荷インジケータランプ(レッド)
- ④ 出力インジケータランプ(グリーン)
- ⑤ オイルアラームインジケータランプ(イエロー)
- ⑥ エコノミーコントロールスイッチ
- ⑦ エンジンスイッチ
- A コントロールランプ

## ■コントロールランプ①

### ① オイルアラームインジケータランプ(イエロー)

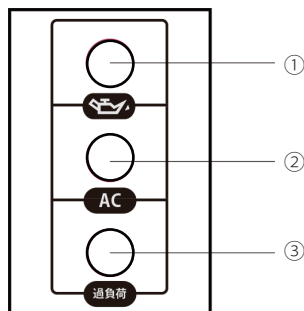
- ・ オイルレベルが下限レベルを下回ると、オイルアラームインジケータランプ(イエロー)①が点灯し、エンジンが自動的に停止します。オイルを補充しない限り、エンジンは再始動しません。

### ② ACパイロットランプ(グリーン)

- ・ ACパイロットランプ(グリーン)②はエンジン始動時に点灯し、発電します。

### ③ 過負荷インジケータランプ(レッド)

- ・ 接続された電気機器の過負荷(1.9Kw以上)が検出された場合、ACパイロットランプ(グリーン)②が消灯し、過負荷インジケータランプ(レッド)③が点灯します。5分後に発電機は自動的にエンジンが停止します。
- ・ 過負荷(2Kw以上)、あるいは接続する電子機器の内部短絡(ショート)が発生した場合、直ちにエンジンが停止します。

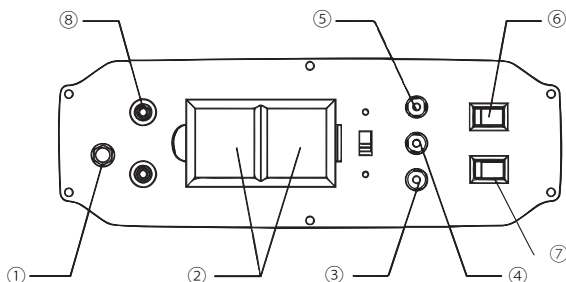


## 過負荷インジケータランプ(赤)が点灯したら

1. 接続されている電気機器の電源を切り、エンジンを停止します。
2. 接続されている電気機器の総ワット数を本製品の定格以内にします。
3. 確認後、エンジンを再起動します。

**⚠** モーターを使用する電気機器など、大きな始動電流が必要な電気機器は消費電力の4倍程度の電力が必要となる場合があります。  
そのため、最初に過負荷インジケータランプが数秒間点灯する事があります。

**⚠** 本製品の定格出力は1.7Kw (1700w) です。

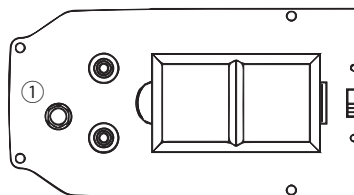


### エコノミーコントロールスイッチ⑥

- エコノミーコントロールスイッチ⑥を(O N)にすると、接続された電気機器の電気負荷に応じてエンジン速度を調整します。
- エコノミーコントロールスイッチ⑥を(O F F)すると、接続された電気機器の電気負荷に関係なく、エンジンは定格速度で動作します。

### アース端子

- アース端子①は、感電防止のためにアース線を接続します。  
推奨されるアース線は、0.12mm/A以上のアース線を使用してください。



# 始動前点検

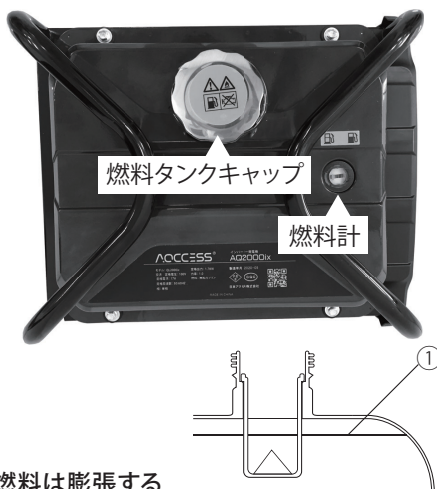
安全に使用する目的と、発電機の故障と事故を未然に防ぐため、必ず以下の点検作業を使用前に実施してください。

## ⚠ 警告

- ・点検する際は、必ずエンジンが停止している状態で行ってください。

## ■ 燃料計の点検

1. 燃料計で燃料が十分入っているか確認をしてください。燃料が少ない場合は以下の手順に沿って燃料を充填してください。
2. 燃料タンクキャップを開けてください。
3. 燃料計を見ながら、燃料タンク（最大10L）にゆっくりと燃料を入れてください。この時に、燃料タンクに燃料を入れ過ぎないように注意してください。標準的な無鉛ガソリンの仕様を推奨します。
4. 燃料タンクキャップをしっかりと締めてください。



- ⚠ ガソリンの充填量は、右図①程度までです。燃料は膨張する場合がありますためタンク内に1cm以上の空間が開くようにしてください。

## ⚠ 警告

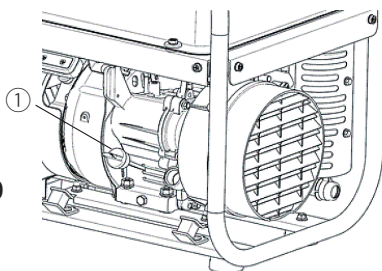
- ・燃料は引火しやすく、気化した燃料は爆発する恐れがあるため、燃料給油の際は、必ずエンジンを停止し通気の良い場所で行ってください。
- ・給油中は喫煙・火気厳禁です。火災や爆発の原因になります。また、静電気が発生しないよう十分注意してください。
- ・給油中に発電機本体及びマフラー部に燃料をこぼさないように注意してください。こぼれてしまった場合は、きれいに燃料を拭きとり、完全に乾かしてからエンジンを始動させてください。
- ・万が一、燃料が目に入ったり、皮膚に付着したりした場合は、速やかに清潔な水で洗い流してください。
- ・燃料は子供の手の届かないところに保管してください。



## ■エンジンオイル

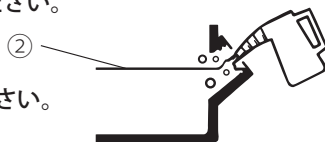
**⚠** 本発電機はエンジンオイルなしで出荷されています。エンジンオイルを充填するまでエンジンを始動させないでください。

1. オイルフィルターキャップ①を取り外します。
2. 指定された量のエンジンオイルを充填し、オイルフィルターキャップを締め付けます。
3. 推奨エンジンオイル：SAE 15W-40または10W-30  
推奨エンジンオイルグレード：SE 級以上  
エンジンオイル量：0.4L



■ 高品質の4ストローク用の合成オイルを使用してください。

**⚠** 必ず②のレベルまで、エンジンオイルを充填してください。



### **⚠** 警告



- ・この確認を行うには、エンジンのスイッチを切った状態で、発電機を平らな場所に置いてください。
- ・オイルレベルを確認するときは、発電機の熱い部分に触れないようにしてください。


## ■各部位の点検

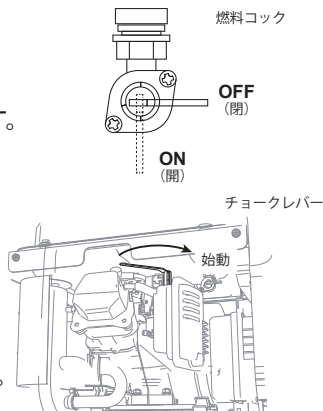
- ・発電機からのオイル漏れがないかを点検してください。
- ・タンク、ホース、キャブレター等からの燃料漏れがないか点検してください。
- ・リコイルスターターの作動状態は良好かローブに損傷は無いか点検してください。
- ・ネジ類の緩みがないか点検してください。
- ・各スイッチ、コンセントに損傷がないか点検してください。
- ・エンジンの始動性、異音、排気の状態は良好か点検してください。
- ・チョークレバーの作動状態は良好か点検してください。


# 使用方法

## ■エンジンの始動

1. 発電機に接続している電気機器をすべて取り外します。
2. エコノミーコントロールスイッチ (ブラック) を「OFF」にします。
3. エンジンスイッチ (レッド) を「ON」にします。
4. チョークレバーを【】始動位置に合わせます。
5. 燃料コックを【】「ON」の位置に合わせます。
6. リコイルスターターがかみ合うまでリコイルスターターをゆっくりと引っ張り、その後、強く引きます。  
数回試行してもエンジンが始動しない場合は、

チョークレバーを【】運転位置にしてやり直してください。




 リコイルスターターを引っ張るときに発電機が転倒ないように、運搬用ハンドルをしっかりとつかんでください

7. エンジンが始動したら、チョークレバーを【】運転位置にあわせます。

## ■電気器具の接続

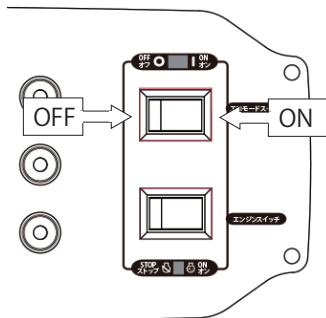
1. 電気機器の電源を切ってから差し込んでください。
2. 合計負荷が発電機定格出力内にあることを確認してください。
3. エンジンを始動します。
4. エコノミーコントロールスイッチ (ブラック) を「ON」にします。
5. 電気機器を発電機のACコンセントに接続します。
6. ACパイロットランプが点灯していることを確認します。
7. 電気機器の電源を入れます。


 発電機を使用する場合、接続する電気機器の 総負荷が発電機の定格出力内にあることを確認してください。発電機の定格出力を超えた電気機器を使用すると、発電機が損傷します。

 過負荷インジケータランプは、総ワット数が適用範囲を超えたときに点灯します。

## ■エコモードスイッチ (黒)

- ONにした場合  
発電機に負荷が掛かっていない状態で、燃料消費を最小限に抑え、騒音レベルを低減します。  
エンジン回転数は負荷に応じて変化します。
- OFFにした場合  
エンジンは定格回転数で動作します。



 電気機器が「瞬間的な」電力を必要とする場合、エコモードは効果的に機能しません。負荷の高い機器を接続する場合や、DC出力に接続する場合は、エコモード機能をOFFにしてください。

## ■エンジンの停止

1. エコノミーコントロールスイッチ(ブラック)を「OFF」にします。
2. 発電機に接続している電気器具をすべて取り外します。
3. エンジンスイッチ(レッド)を「OFF」にします。

# 運搬・保管

## ■ガソリンの抜き方

1. 燃料コックを【 — 】「OFF」にします。
2. エンジンスイッチ(赤)を「OFF」にします。
3. ガソリンタンクキャップを取り外します。
4. 市販の給油ポンプ等を使用し、ガソリンタンク内のガソリンを抜き取り、別容器に移します。
5. 燃料コックを【 | 】「ON」にします。
6. エンジンスイッチ(赤)を「ON」にします。
7. リコイルスターターでエンジンを始動させます。
8. ガソリンを使い切ってエンジンが自動で停止するまで運転を続けます。
9. キャブレターのドレンスクリューを緩め、ガソリンを抜き取り、別容器に移します。
10. 完全にガソリンが抜けたら燃料コックを【 — 】「OFF」にします。
11. キャブレターのドレンスクリューを締め付けます。

### 警告

- ・ 作業中は火気厳禁です。火災や爆発の原因になります。また、静電気が発生しないように十分注意してください。
- ・ 容器は必ず耐ガソリン製の物を使用してください。

## ■運搬（※ガソリンの抜き方項目参照）

「■ガソリンの抜き方」の4.まで行い、ガソリンタンク内のガソリンを抜いてから運搬するようにしてください。

本製品を自動車等で運搬をする場合は、走行中の振動や衝撃等で燃料がこぼれる恐れがあるので、燃料タンク内のガソリンをすべて抜いてから運搬してください。

### ⚠ 警告

ガソリンは気化して引火する恐れがある為、車内等に積載したまま長時間放置しないでください。

## ■保管（※ガソリンの抜き方項目参照）

長期間使用しない場合は、ガソリンの抜き方項目を最後まで行ってください。

本発電機にカバー等を掛けて、室内で湿気が少なく換気の良い場所で保管してください。

⚠ 燃料が自然劣化し、エンジン始動が困難になる場合があるので、長期間使用しない場合は、必ず燃料を全て抜いてから保管してください。

# 定期点検

## ■点検・交換目安

	使用前点検 (毎回点検)	1ヶ月又は 20時間運転	3ヶ月又は 50時間運転	6ヶ月又は 100時間運転	1年又は 300時間運転
エンジンオイル	点検	交換 ※初回運転時		交換	交換
エアフィルター	点検・清掃				
スパークプラグ				点検 清掃・調整	交換
燃料タンク			点検・清掃		
燃料タンク ストレーナー	点検	清掃			

⚠ ホコリ等が多い場所で使用した場合は、エアクリーナーの清掃は10時間運転、または1日1回行ってください。

⚠ 表示時間・期間が経過したら、速やかに点検・交換を行ってください。

⚠ 点検・交換目安は、期間毎または運転時間毎のどちらか早い方で行ってください。

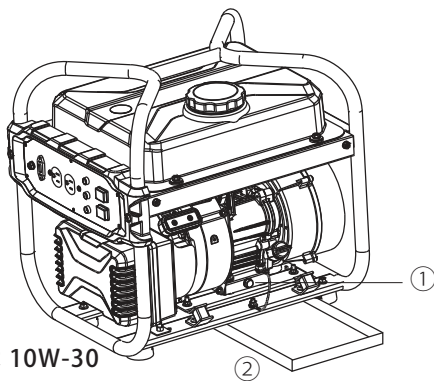
⚠ 点検時に、異音、異臭、振動等の異常が感じられた場合は、直ちに点検作業を中止し、販売店までご連絡ください。

## ■キャブレター調整

**⚠** キャブレターの調整には、専門知識が必要になります。調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

## ■エンジンオイル交換

1. 発電機を平らな場所に置き、エンジンを数分間暖めてからエンジンを停止します。
2. オイルフィルターキャップを外します。
3. オイル受け皿②をエンジンの下に置き、オールドレンボルト①を緩め、エンジンオイルを排出します。
4. オールドレンボルトを締めエンジンオイルを充填します。



推奨エンジンオイル：SAE 15W-40 または 10W-30

推奨エンジンオイルグレード：SE 級以上

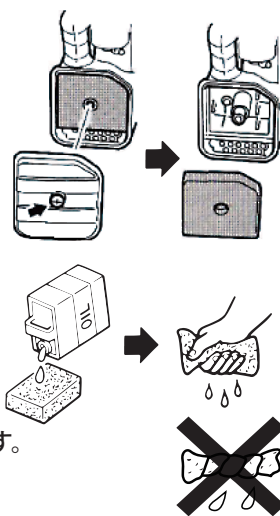
エンジンオイル量：0.4L

## 環境保護

最も有害な汚染源のひとつがオイルです。使用済みのエンジンオイルを家庭ごみと一緒に捨てたり、排水溝やシンクに流したりしないでください。漏れない容器に入れて、地元の廃棄物処理場で廃棄をしてください。

## ■エアフィルター清掃

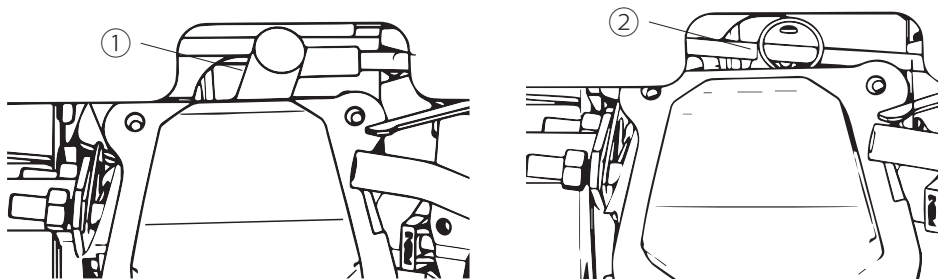
1. ネジを外し、カバーを取り外します。
2. エアフィルターケースカバーを取り外します。
3. フォームエレメントを取り外します。
4. フィルターが破損していないか、汚れていないかを確認します。
5. フィルターが破損している場合は交換してください。
- 6-1. フィルターが汚れている場合は、中性洗剤を混ぜた溶剤で洗浄し、十分にすすいでください。
- 6-2. フィルターを完全に乾かします。
- 6-3. フィルターが完全に乾いたら、綺麗なエンジンオイルに浸して軽く絞って余分なオイルを取り除きます。
7. フォームエレメントをエアフィルターケースの元の位置に戻します。
8. エアフィルターケースカバーを元の位置に戻し、ネジを締めます。
9. カバーを取り付け、ネジを締めます。



**⚠** フィルターを扱う際は破らないように慎重に扱ってください。破れてエンジンが不調になる場合があります。

## ■スパークプラグ点検・交換 (推奨点火プラグ:NGK BPR7HS または同等品)

1. スパークプラグキャップ①を外し、スパークプラグにスパークプラグレンチ②を差し込みます。

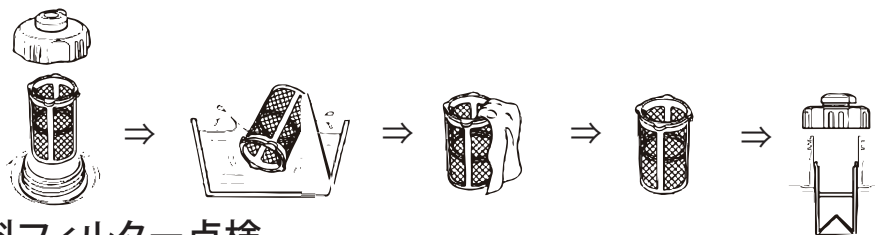


2. スパークプラグレンチを反時計回りに回してスパークプラグを取り外します。
3. スパークプラグの中心電極の周りに変色がないか確認し、カーボンを除去します。
4. トルクレンチで、スパークプラグを取り付けます。

⚠ スパークプラグ 締め付トルク：20.0Nm

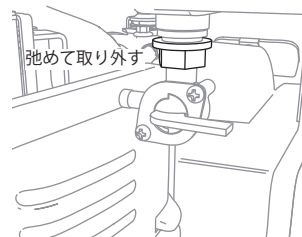
## ■燃料タンクフィルター点検

1. 燃料タンクのキャップとフィルターを取り外します。
2. フィルターをガソリンで掃除します。
3. フィルターを拭いて取り付けます。
4. 燃料タンクキャップを取り付けます。燃料タンクキャップが確実に締め付けられていることを確認してください。



## ■燃料フィルター点検

1. ネジを外し、カバーを取り外し、ガソリンを排出します。
2. クランプを持ち上げて、タンクからホースを取り外します。
3. 燃料フィルターを取り出します。
4. 燃料フィルターをガソリンで掃除します。
5. 燃料フィルターを乾燥させてタンクに戻します。
6. ホースとクランプを取り付け、燃料バルブを開いて漏れがないかどうかを確認します。
7. カバーを取り付け、ネジを締めます。



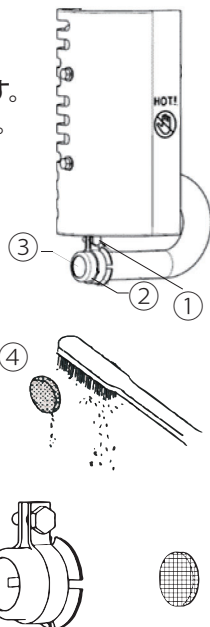
## ■サイレンサー点検

**!** エンジンを始動させた後、エンジンとマフラーは非常に熱くなります。十分に温度が下がったことを確認してか触れるようにしてください。

1. ボルトを緩め①、マフラーキャップ②、マフラースクリーン③を取り外します。
2. ワイヤブラシを使用して、マフラースクリーン上のカーボンデポジットをクリーニングします。

**!** 清掃するときは、マフラースクリーンの損傷や傷を避ける為に、ワイヤブラシをゆっくりと動かしてください。

3. マフラースクリーンを点検し、損傷している場合は交換をしてください。
4. マフラースクリーンとマフラーキャップを取り付けます。
5. カバーを取り付け、ネジを締めます。



## 故障対策

### ■エンジンが始動しない

- 燃料タンクにガソリンがない…………… ガソリンを供給してください。
- 燃料タンク …………… 燃料コックのつまみを「ON」にしてください。
- 燃料フィルターが詰まっている …………… 燃料フィルターを清掃してください。
- オイルレベルが低い …………… エンジンオイルを充填してください。
- スパークプラグが汚れている …………… スパークプラグを乾燥させ清掃してください。
- スパークプラグにカーボンが付着している…………… スパークプラグのカーボンを拭き取ってください。
- 電気機器が既に接続されている…………… 電気機器を外してから始動してください。
- 点火系統が不良 …………… 販売店にご相談ください。
- エアフィルターが汚れている …………… エアフィルターの清掃をしてください。
- キャブレターが詰まっている …………… キャブレターを分解整備してください。

**!** キャブレターの調整には、専門知識が必要になります。調整が必要な場合は、販売店にご相談ください。

## ■エンジン出力が出ない

- 使用電気機器が故障している……………使用機器が正しく稼働するか確認してください。

## ■発電機が熱すぎる

- 過負荷状態になっている……………負荷を減らしてください。
- 換気不足…………… 発電機を通気性の良い場所に移動してください。

**⚠** 対策方法を試しても症状が改善されない場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。

# 製品仕様

商品名	AQCESS インバーター発電機 AQ2000iX
商品型番	QL2000ix
定格周波数	50Hz/60Hz
定格電圧	AC100V
定格出力	1.7Kw(1700w)
最大出力	1.9Kw(1900w)
力率	1.0%
絶縁等級	F級
使用環境条件	大気圧:100 k Pa 気温:25℃ 湿度:30%
エンジン種類	単気筒4ストローク空冷式OHV
排気量	119cc
使用燃料	無鉛ガソリン
ガソリンタンク容量	10L
使用エンジンオイル	4サイクルエンジンオイル(SE級以上)
エンジンオイル量	0.4L
スパークプラグ形式	TORCH E7TC/E7RTC ※推奨スパークプラグ:NGK BP7HS
始動方式	リコイルスターター
全長×全幅×全高	W450×D390×H440 mm
重量	21kg
連続運転時間	約8時間 (70%定格負荷運転・ガソリン10Lの場合)

付属品・スパークプラグレンチ×1 オイル給油用ファンネル×1

**⚠** 本製品は、12ヶ月保証対象品です。後述の製品保証規定を参照してください。



## ■製品の特長

- ・ガソリンエンジン発電機です。交流100Vを出力することができます。
- ・過負荷保護装置付きです。

⚠ 各使用機器の消費電力を確認の上能力以上の負荷を掛けないようご注意ください。

⚠ 本製品の定格出力は1.7Kw(1700w)です。

※ 使用電気機器と発電機の目安

発電機を使用する場合、多くの電気機器に表示されている消費電力以上の出力が必要となり、モーターを使用する電気機器では消費電力の4倍程度の電力が必要となります。

## 製品保証規定

※ 製品の保証期間は、ご購入後12ヶ月です。

※ 正常な使用状態にて故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて修理、交換させていただきます。

※ 本保証は、当該製品単体の保証を意味します。製品の故障及び損傷により発生する損害は、保証対象には含まれません。

※ 本保証は、日本国内においてのみ有効です。海外で発生した故障及び損傷に関しては、保証対象には含まれません。

※ 保証の可否は弊社が判定いたします。

※ ご購入日の確認ができない場合は、有償修理として受け付けさせていただきます。

※ 製品保証は弊社で販売した商品のみ有効です。

※ 二次的に発生する損失の補償及び次に該当する場合は保証対象には含まれません。

- ・使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠った為に発生した故障及び損傷。
- ・製品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ・消耗品が損傷し、取り替えを要する場合。
- ・地震・火災・風害その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ・ご購入後の輸送や移動時の落下や衝撃による故障及び損傷。

# 廃棄について

本製品を廃棄する場合は、オイル、ガソリンを指定された容器に移し、お住まいの自治体のゴミ廃棄方法に従って、本体とオイル、ガソリンを処理してください。

# 所有者・使用者責任

所有者、及び使用者は当該商品を使用する前に、メーカーからの説明書（警告文）を良く読み、理解しなければなりません。発電機の構造、及び構成している部品等をよく理解し、十分な経験のある者が責任を持って当該商品を使用し作業を行うようにしてください。

警告事項は特に良く理解するようにしてください。

所有者、及び使用者は作業の上で、メーカーからの推奨事項を常に把握し、維持するように努めてください。

警告ラベル、説明書等については、必ずいつでも読む事が出来るよう保管をしてください。

# 使用上の注意

1. 使用中は安全のため、安全メガネ・安全手袋・防塵マスク・耳栓・作業着等の安全保護具を着用してください。
2. 使用する工具の説明書を良く読み、注意事項を守って作業してください。
3. 使用前に、各部に傷、損傷、錆等が無いか良く確認してください。
4. 定期的に各部の点検を行い、オイル交換やエレメントの清掃を行ってください。
5. 誤った使用方法により商品が破損、人体への損傷、物品等の損害が生じた場合、一切の保証、並びに責務は無効となります。

# 故障について

故障と思われる場合は、お手数ですが、お買い上げの販売店又は販売元までお問い合わせください。

**日本アクセス株式会社**

〒945-0855 新潟県柏崎市鯨波甲673-10

**ACCESS<sup>®</sup>**

日本アクセス株式会社